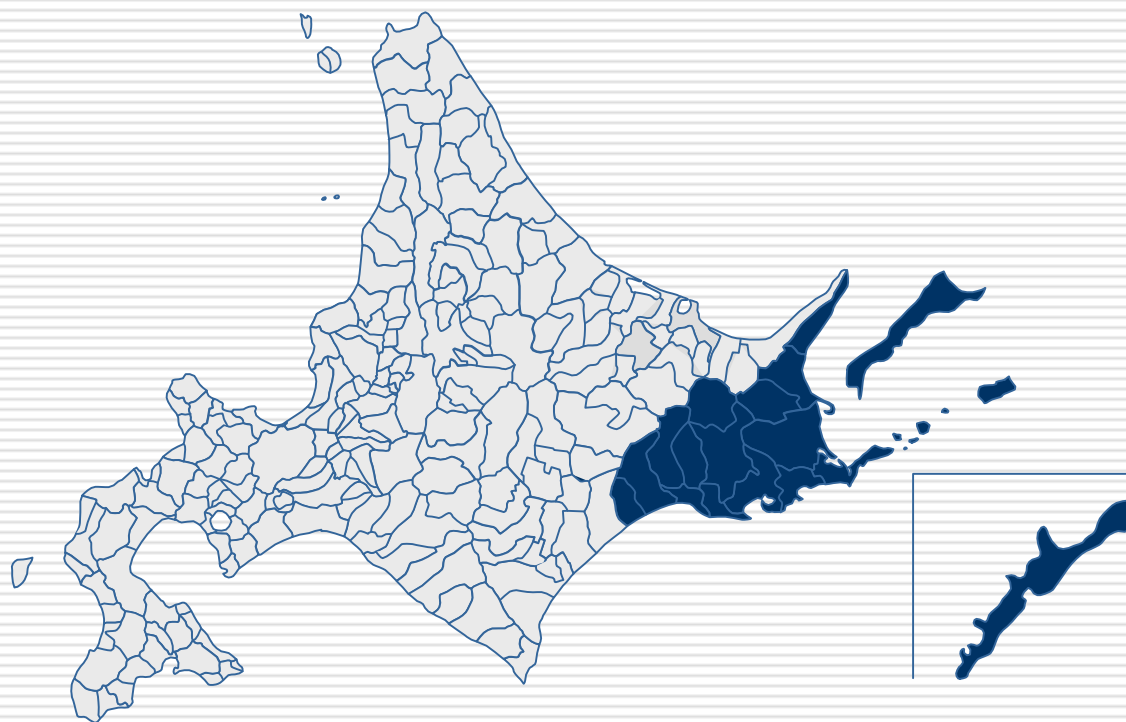


# 釧路・根室地域の地域構造について

---



## 地域構造

### 釧路・根室地域の地域構造

#### ■ 都市機能を担う地域（都市エリア）

人口が集積しており、医療や教育、交通などの要衝でもある地域  
（釧路市・釧路町、根室市、中標津町）

#### ■ 農業が充実している地域（農業エリア）

第1次産業のうち、特に農業の生産額が多い地域  
ここでは人口1人あたりの年間農業粗生産額が100万円を超える町村を抽出

#### ■ 漁業が充実している地域（漁業エリア）

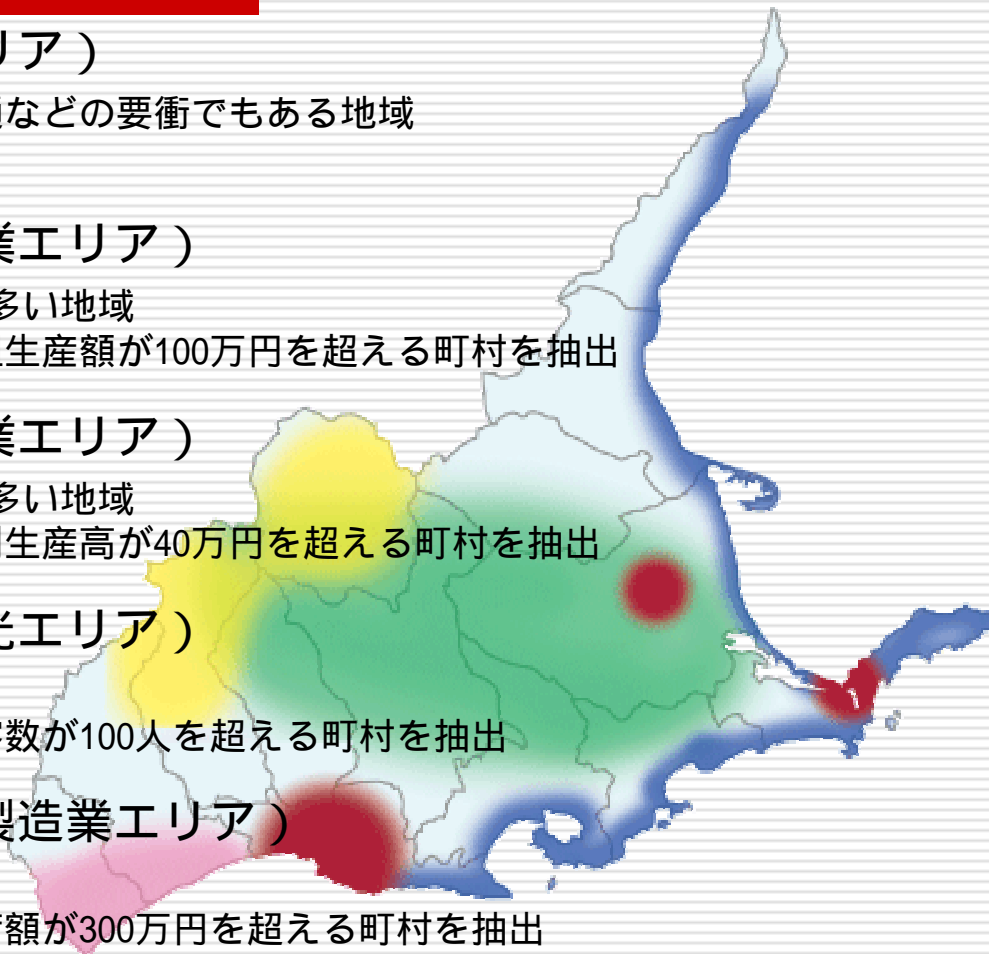
第1次産業のうち、特に漁業の生産高が多い地域  
ここでは人口1人あたりの年間魚種別生産高が40万円を超える町村を抽出

#### ■ 観光が充実している地域（観光エリア）

観光客入込数が多い地域  
ここでは人口1人あたりの年間入込客数が100人を超える町村を抽出

#### ■ 製造業が充実している地域（製造業エリア）

製造業の出荷額が多い地域  
ここでは人口1人あたりの製造品出荷額が300万円を超える町村を抽出



## 地域構造

# 都市機能を担う地域(都市エリア)の特徴

### ■ 釧路市・釧路町、根室市、中標津町の4市町

- ・ 釧路・根室地域の人口の7割強を占める。  
この傾向は、2030年においてもほとんどかわらない。
- ・ ただし、その内訳をみると、釧路町、中標津町がほぼ現状維持であるのに対し、釧路市が61.8%、根室市が55.6%（ともに2000年対比）と減少する。
- ・ 都市エリアの生産額（推計）は、およそ1.1兆円（2000年）となるが、少子高齢化による人口及び生産年齢人口の減少により、2030年には6千億円弱程度となることが予想される。
- ・ 都市エリアは、医師数で地域の89.3%、病床数でも84.5%を占めている。
- ・ 都市エリアは、高校卒業者数で地域の80.3%、大学進学者数で85.0%を占めている。

## 地域構造

# 農業が充実している地域(農業エリア)の特徴

### ■ 人口1人あたりの農業粗生産額が高い地域

- ・人口は地域の1割強を占めるが、人口は分散化が顕著である。その内訳をみると、2030年にはほとんどの町村で半減程度の減少(2000年対比)となり、更なる分散化の進展が予想される。
- ・人口と年齢構成などからみた2030年の生産額推計によると、都市や漁業エリアなどに比べ落ち込み幅が大きいものの、人口1人あたりでは391万円と他エリアとの対比では高い水準を維持する。
- ・人口1人あたりの医師数や大学進学者数をみると、都市エリアなどに比べ低い。
- ・居住(1人あたり延べ床面積)などは、都市エリアに比べ豊かである。
- ・犯罪などの発生率も少なく、人口1人あたりのスポーツ施設、公民館などの施設数も都市エリアを上回っている。

## 地域構造

# 漁業が充実している地域(漁業エリア)の特徴

### ■ 人口1人あたりの魚種別生産高が高い地域

- ・人口は地域の2割強を占めるが、ほとんどの市町村で2030年には半数程度にまで減少することが予想される。
- ・人口構成などからみた地域の生産額(推計)は、人口1人あたりで4,472千円(2000年)から3,882千円(2030年)となるものの、他エリアに比べ落ち込み幅は小さい。
- ・人口1人あたりの医師数や大学進学者数は、農業エリアなどと同様に低い。ただし、集落は比較的集積していることから、各種機能の効率的維持は、ある程度可能と考えられる。
- ・居住(1人あたり延べ床面積)などは、都市エリアに比べ豊かである。

## 地域構造

# 観光が充実している地域(観光エリア)の特徴

### ■ 人口1人あたりの入込客数が多い地域

- ・ 人口は地域の4%程度であるが、集落は比較的集積している。また人口減少は他地域と同様に進み、2030年には6割程度(2000年対比)となることが予想される。
- ・ 入込客数は年間285万人で、地域のおよそ3割程度を占めるが人口千人あたりで他地域と比較すると175人で格段に高い。
- ・ 地域の生産額(推計)は、2000年では人口1人あたりで439万円となるが、特に生産年齢人口の減少が顕著であるため、年齢構成などから推計すると2030年には312万円となる。
- ・ 人口1人あたりの医師数は少ないが、老人保健施設と一体型の大型病院などがあるため、病床数は他地域に比べ多い。大学進学者数についても、農業や漁業エリアに比べると多い。

## 地域構造

# 製造業が充実している地域(製造業エリア)の特徴

### ■ 人口1人あたり製造品出荷額が多い地域

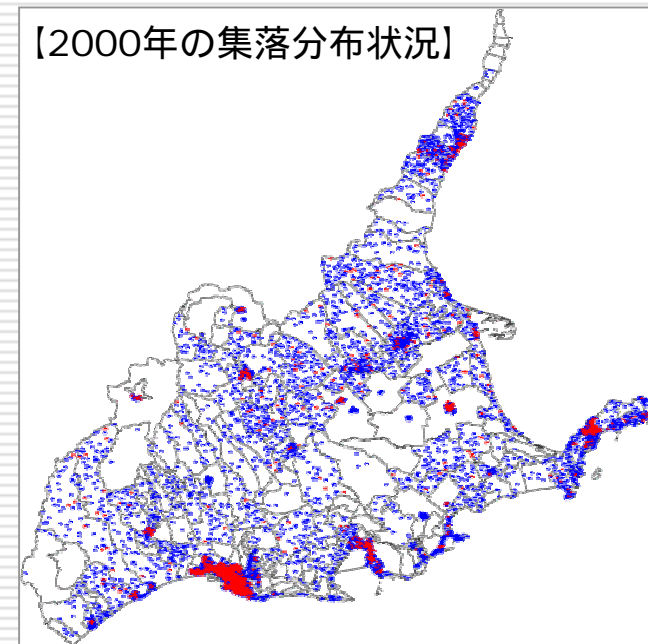
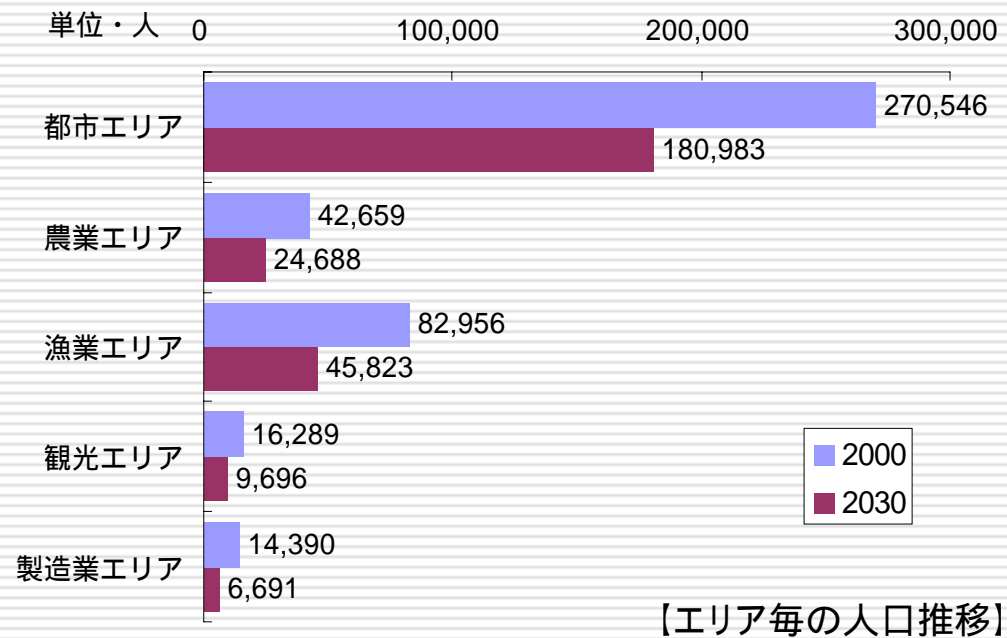
- ・ 都市エリアに近接している。
- ・ 人口は地域の4%程度であるが、2030年までの推移をみると、5割以上の減少が予想され、生産年齢人口も大きく減少することから、生産額の落ち込みも懸念される。
- ・ 農業や漁業などの第1次産業もあるが、都市エリアに近いことや交通アクセス機能の充実を背景とした工業団地などを背景とした製造業などの集積が進んでいる。
- ・ 観光客の入り込みは少ない。
- ・ 人口1人あたりの医師数や病床数などは低いですが、要因としては都市エリアに近接していることが挙げられる。

## 地域構造

# 人口の推移

地域毎に2000年から2030年までの人口推移をみると、農業エリアで42.1%減、漁業エリアで44.8%減となるなど、どのエリアでも大幅な減少が予想される。個別にみると、都市エリアのうち、根室市が44.4%減で2万人を割り込むほか、漁業、農業エリアにおいてほぼ半減となる町村も少なくない。

とりわけ農業エリアでは、一定程度集積が図られている漁業や観光エリアなどと異なり、集落が分散化しているため、更なる分散化の進展が予想される。



資料) 国勢調査、2030年は未来総研による推計

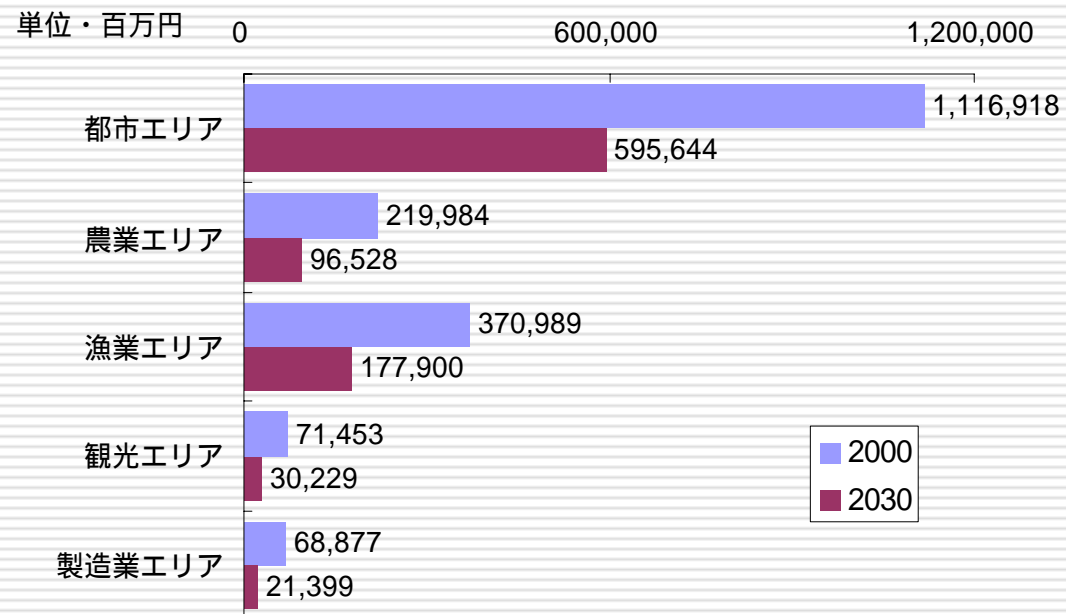


## 地域構造

# 生産額の推移

2000年から2030年までの生産額の推移を、人口構成により推計すると、どの地域でも大幅な減少となるが、特に都市エリアを除く地域では2000年の半分以下の水準となる。

なお、人口1人あたりの生産額をみると、2000年で最も多いのが農業エリアの5,157千円で、都市エリアが4,128千円で最も低い結果となるが、2030年をみると、漁業、都市エリアを除く地域では、人口1人あたりの生産額が百万円以上減少することが予想される。



資料) 未来総研による推計

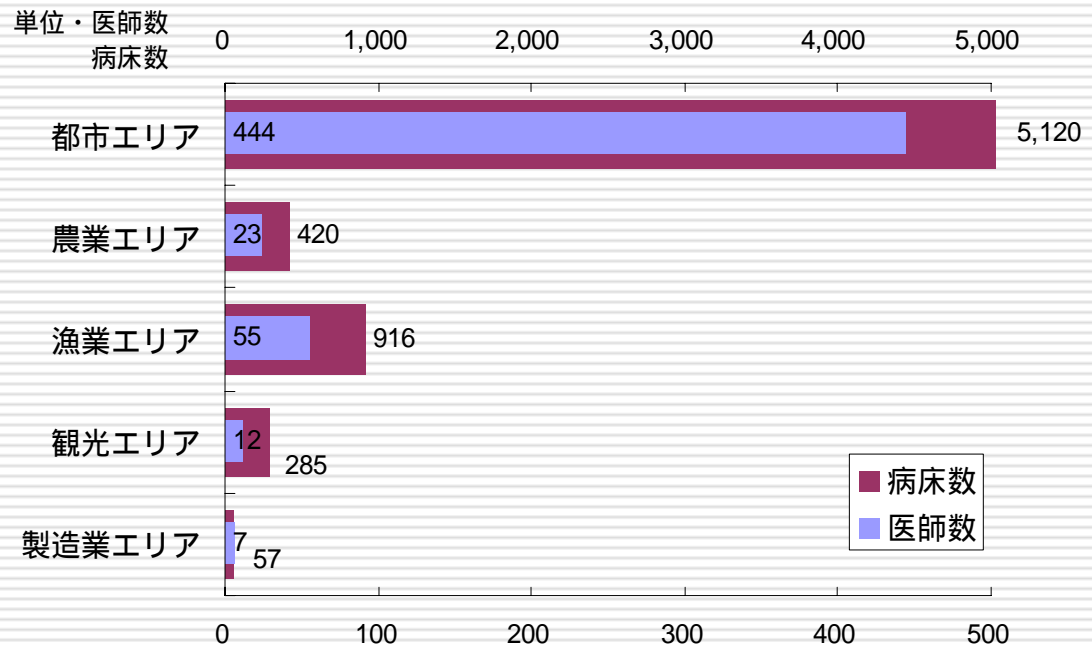
## 地域構造

### 医師数、病床数の状況

地域毎に医師数、病床数の状況をみると、医師数では都市エリアが444人と地域の89.3%を占めている。

病床数も同様で、都市エリアが5,120病床で84.9%となっているが、とりわけ釧路市への集積が突出しており、医師数で371人(74.6%)、病床数で4,025病床(66.8%)となっている。

また、これらを人口千人あたりで見ると、温泉療養型施設や老人保健施設と一体型の病院などがある地域で病床数が多くなっているが、これら地域を除くと釧路市、根室市、中標津町の順になっており、都市エリアへの集積が顕著である。



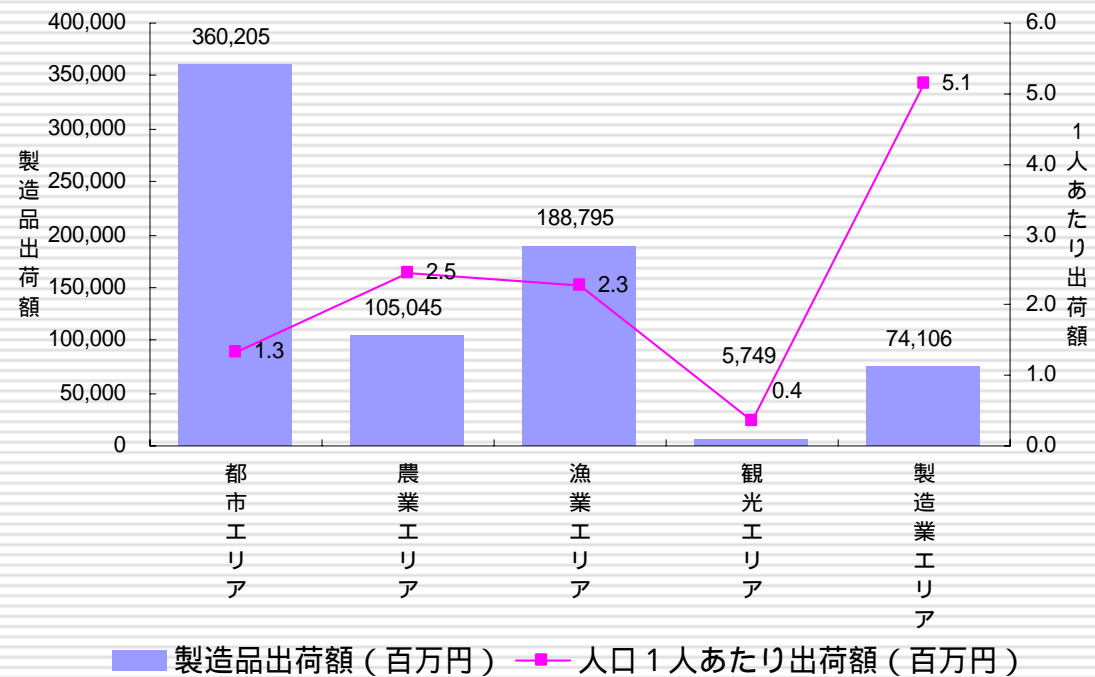
## 地域構造

# 製造品出荷額の状況

地域毎に製造品出荷額の状況を見ると、都市エリアが3,602億円で最も多いが、人口1人あたりで見ると、製造業エリアが5.2百万円で、続いて農業、漁業エリアの2.5百万円となっている。

製造業エリアでは比較的大規模な工業団地を有するほか、農業、漁業エリアに関しては、農水産品の加工施設が一定程度集積しているため、人口あたりでは高い状況にある。

なお、観光エリアの人口1人あたり出荷額は0.4百万円となった。



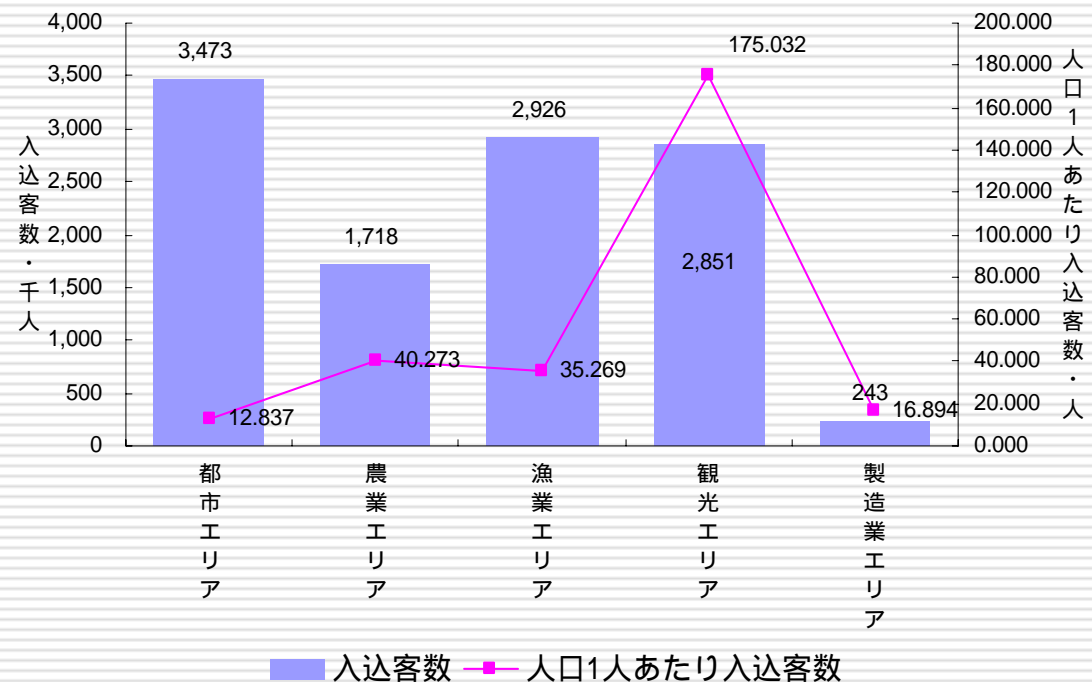
## 地域構造

# 入込客数の状況

地域毎に入込客数の状況を見ると、都市エリアが最も多く347万人となっているが、これは空港や港、JR駅などを抱えていることから、ゲートウェイ的機能を有しているためである。次に、知床半島や野付半島、湿原などを抱える漁業エリアの292万人となり、阿寒湖、摩周湖などを抱える観光エリアも285万人と続いている。

これらを人口1人あたりで見ると、観光エリアが175人で突出し、以下、農業エリアの40.3人、漁業エリアの35.3人となっているが、このことから観光と農漁村景観や体験型観光メニューなどとの連動性が一定程度読み取れる。

その他では、都市エリア、製造業エリアともに少ない結果となった。



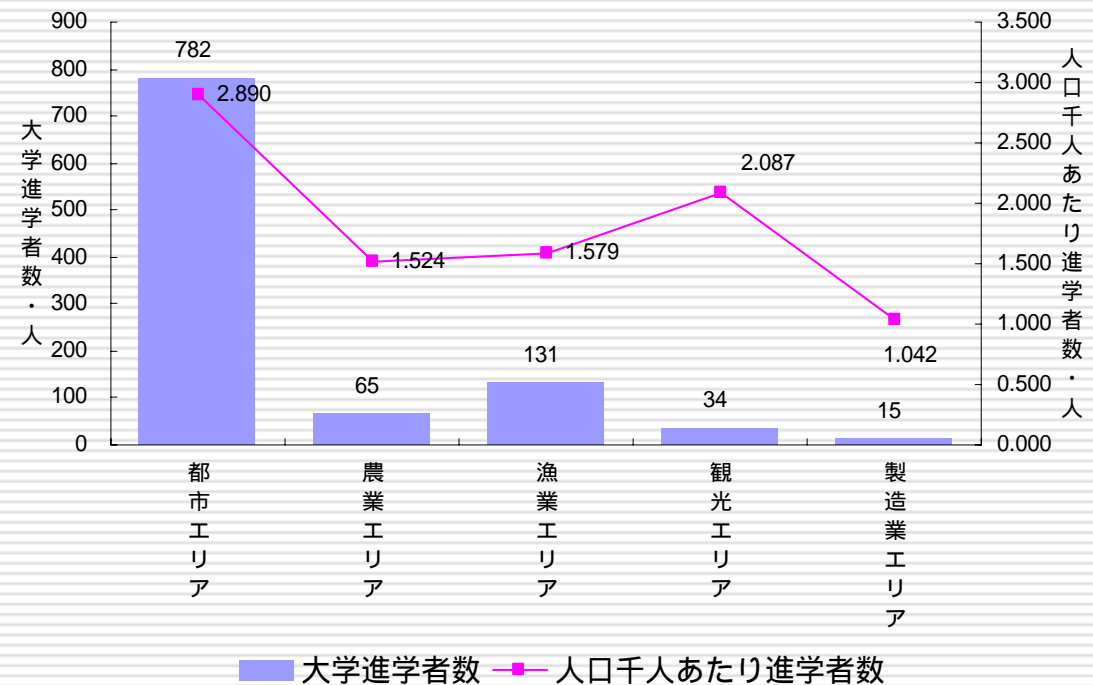
資料) 北海道の観光客入込に関する資料

## 地域構造

### 教育などの状況

地域毎に大学進学者数をみると、都市エリアで782人となり、地域の8割以上を占めているが、とりわけ釧路市では606人で65.9%となっている。

人口千人あたりの進学者数を見ても、都市エリアが最も高く、病床数の状況などと同様に、集積がうかがえる。

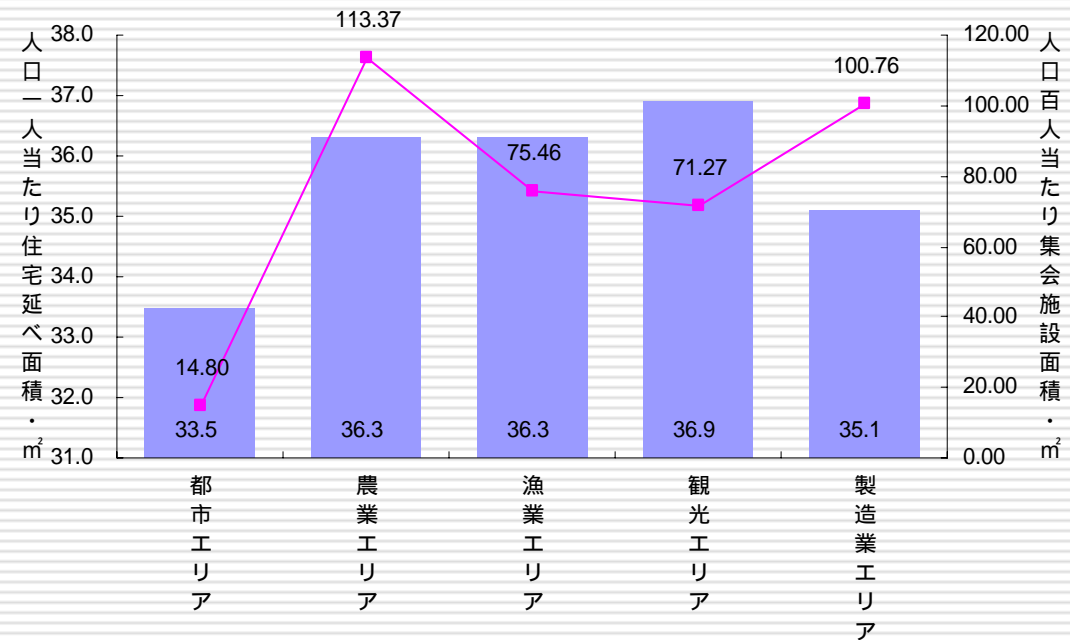


## 地域構造

# 住宅延べ面積などの状況

地域毎に人口1人当たりの住宅延べ床面積をみると、最も広いのは観光エリアの36.9㎡で、以下農業、漁業エリアの36.3㎡、製造業エリアの35.1㎡と続くが、都市エリアは33.5㎡と他エリアに比べ1割前後下回る。

また、人口百人当たりの集会施設面積を見ると、市町村によってばらつきが大きいですが、農業エリアと製造業エリアで100㎡を超えるが、都市エリアでは14.8㎡となっている。



■ 人口一人当たり住宅延べ面積 ■ 人口百人当たり集会施設面積